

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

【資産の状況】

平成27年度末の資産総額は、2,195億8,000万円で前年度末に比べ57億500万円増加しました。固定資産は1,914億7,400万円となり、うち有形固定資産については、大学で相撲部合宿所や浦水会館耐震の改修を行ったこと、各キャンパスで校舎空調機や建物監視制御装置の更新を行ったこと、板倉キャンパスで車輛の購入を行ったこと、白山キャンパスおよび赤羽台キャンパスの新校舎建設工事が進行中であること、附属牛久高等学校では1号館(北館)が平成28年5月竣工予定として進行中であることのほか、教育・研究のための機器備品や図書を購入などが増加し、一方、赤羽台キャンパスにおいて、東京都都市計画道路整備用地として土地の売却、附属牛久高等学校1号館(南館)建替えに伴う既存校舎の除却や機器備品の除却により、合計で6,300万円減少し1,435億1,700万円となりました。特定資産は、大学で赤羽台キャンパス再開発として積み上げていた将来計画施設設備引当特定資産を24億円取り崩しましたが、新学部設置準備のための引当特定資産として40億円を、減価償却引当特定資産として15億円を、附属牛久高等学校で創立50周年記念事業資金引当特定資産として1億1,000万円をそれぞれ組み入れたことなどにより、合計で33億2,000万円増加し474億8,000万円となりました。その他の固定資産は、事務処理用ソフトウェアの減価償却に伴い、1億4,100万円減少して4億7,700万円となりました。流動資産は現金預金が27億8,000万円増加したことなどにより281億700万円となりました。

【負債の状況】

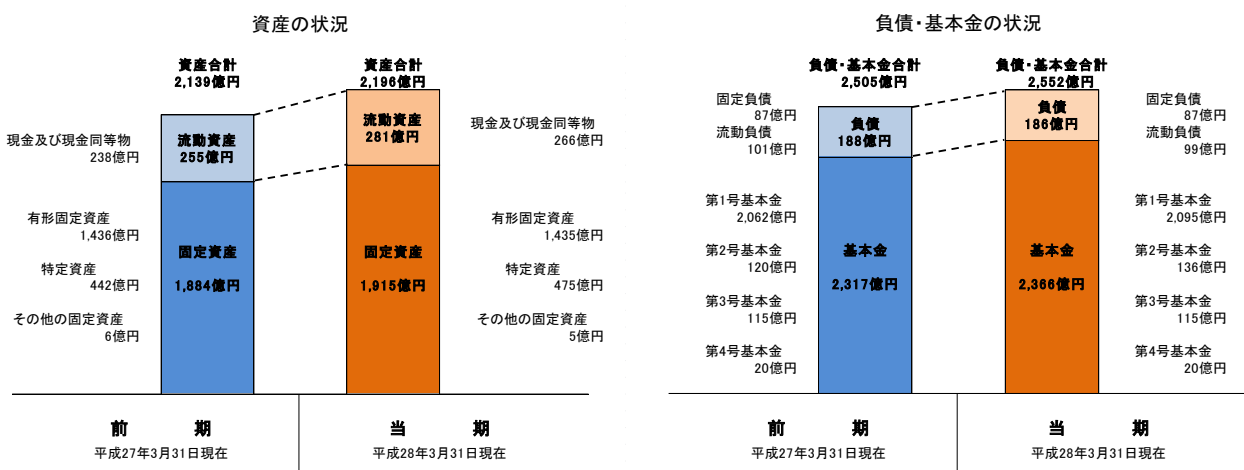
負債総額は186億300万円で前年度末に比べ2億4,300万円減少しました。固定負債は退職給与引当金が2,300万円増加したことにより、87億1,600万円となりました。一方、流動負債は未払金が3億8,500万円減少したことにより8億8,500万円に、前受金が7,300万円増加したことにより82億4,300万円になったことなどにより、2億6,500万円減少し98億8,700万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は48億8,000万円増加して2,365億5,700万円となりました。このうち、第1号基本金は赤羽台キャンパス新校舎建設工事、附属牛久高等学校新校舎建設工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品などの施設設備充実による除却、また大学において2号基本金から24億円を振り替えたことにより、合計で32億8,000万円増加して2,094億5,600万円となりました。第2号基本金は、大学において24億円を第1号基本金に振り替えたこと、新学部設置準備のための引当特定資産として40億円を組み入れたことにより16億円増加し136億円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額2,195億8,000万円に対して、負債総額が186億300万円になったため、純資産は59億4,700万円増加し2,009億7,700万円となり、基本金が2,365億5,700万円であったため繰越収支差額はマイナス355億7,900万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は655億1,300万円、基本金の未組入額は125万円となりました。



3. 財務の概要

(1) 決算の概要

② 収支計算書の状況

【収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は405億3,200万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が前年度より10億1,000万円増加し322億7,400万円に、入学検定料などの手数料が志願者数の増加に伴い前年度より9,800万円増加し22億8,600万円に、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金は前年度より3,700万円減少し1億2,000万円に、経常費等の補助金は前年度より1億6,900万円増加し37億5,000万円になりました。教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より100万円増加し4億1,500万円に、特別収支では資産売却差額が前年度より3億5,200万円減少し、2億7,100万円に、施設設備に係る寄付金、現物寄付や補助金などのその他の特別収入は5,400万円減少し、2億3,000万円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は345億8,400万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が専任教職員の採用増加に伴い前年度より4億6,600万円増加し195億2,400万円に、教育研究経費は前年度より5,200万円増加し129億9,200万円に、管理経費は7,700万円増加し16億5,000万円となっています。なお、全体のうち46億9,500万円は減価償却によるものです。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より6億2,800万円増加し58億7,800万円で、さらに特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額(旧帰属収支差額)は、前年度より14億1,200万円増加し59億4,700万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額は8億1,700万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス355億7,900万円(支出超過)となりました。

